

概要

温泉の蒸気と熱水を利用しバイナリー発電装置により電力を生成し、東北電力に売電を行っている。発電所から約3kmに位置する黒沢池より湧水を引込み、バイナリー発電装置の冷却水利用、そして温水化された冷却水を16号、17号、18号造成塔及びエビの養殖水槽へ供給するとともに、展望デッキへの融雪にも利用している。

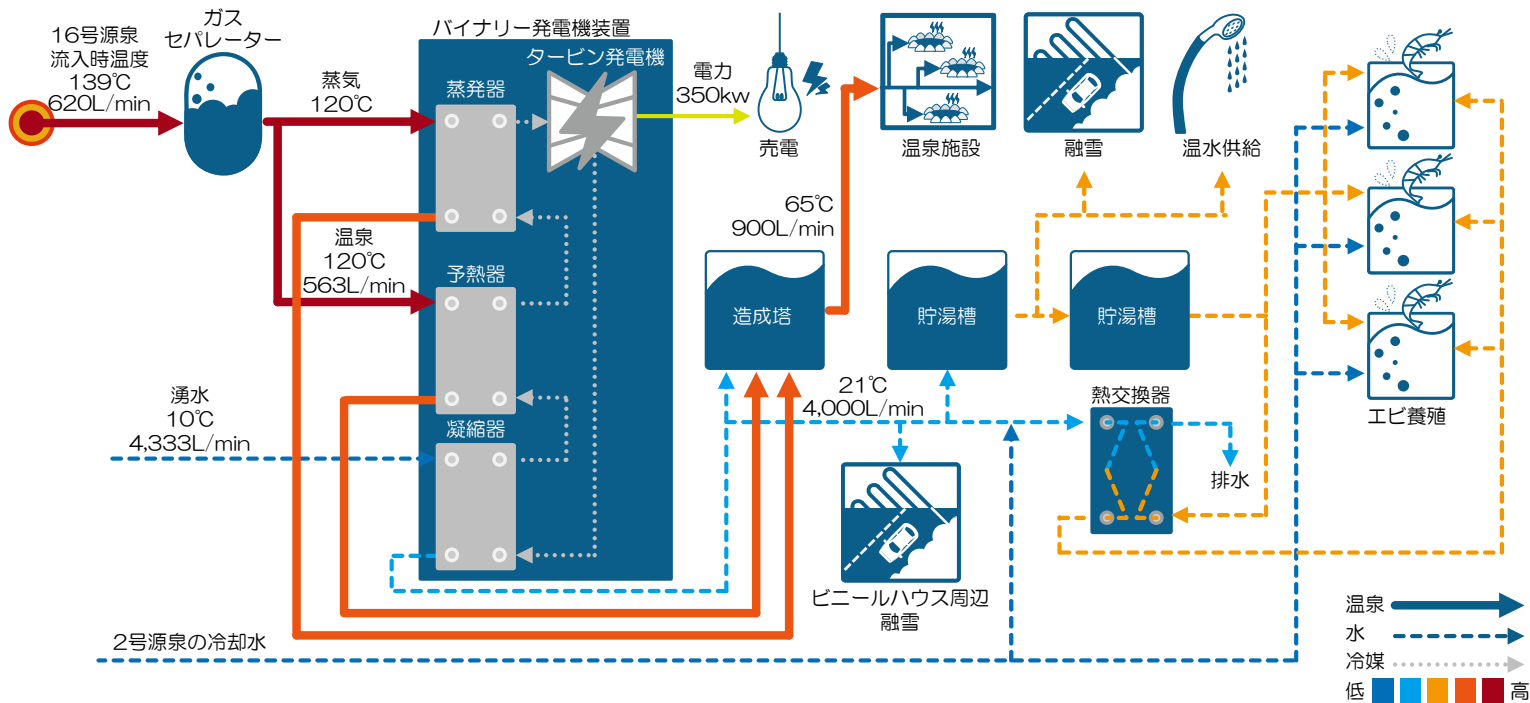
なお、発電使用後の温泉は集中管理方式により温泉組合員へ配湯している。

所在地	福島県福島市
泉質	単純温泉
温泉温度	130℃
利用温度	120℃
利用温泉	既存温泉
総事業費	6億3,000万円(一部補助金あり)



※ エネルギーコスト削減効果、CO₂排出削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値
 ※ 投資回収年数は、ヒアリング先による推定値

主な温泉熱利用方法のシステム図



導入の流れ

実施体制

